

令和7年度 第11回 小野地区語らん場

令和7年9月10日開催

小野地区の自治会長、民生委員をはじめ様々な団体で地域活動に携わる皆さんや地域に根付く介護保険事業所の方など計33名に参加いただき、小野地区語らん場を開催しましたので報告いたします。



住民の声

<現在行っている見守りやご意見>

- 一人暮らしの方や老老介護世帯、孤立している方、持病がある方は特に気にかけている。
- 知人同士での電話による安否確認や見かけた時の声掛けを行っている。
- 郵便物の溜まり、草取りの様子での生活状況把握を行っている。
- サロンもひとつの見守り場所。毎月のサロン参加の呼びかけやサロン欠席時でも声かけを行っている。

<課題>

- 車社会となり隣近所との接触機会の減少がある。
- 普段から声掛けしていないと違和感に気づきにくいところがある。
- サロンに参加したい方でも支援が必要な方は送迎等の課題から参加できない。

諫早市南部地域包括支援センター

TEL : 0957-35-2887

生活支援コーディネーター : 坂田 ちひろ

「今回のテーマ」

見守り

「日頃の生活の中であなたが
気にかけている人ってどんな人？」



今回は、森山保健センターの地区担当保健師さんによる小野地区の健康状態についてのお話やデイサービス富士山さんより事業所における見守りについてのお話もして頂きました。

また、あいのわ3rdデイサービスさんより休憩時間を使って体操や脳トレを教えていただきました。参加者の皆さんからは笑い声と笑顔がこぼれています。😊

SCより

小野地区は平地から山間部が広がっており、それぞれの自治会が広範囲となっている地区です。特に山間部には家々が点在しており見守りが困難とのお声も聞かれました。普段から声かけしていないと違和感に気づきにくいことから、普段の付き合いが重要であると同時に社会変化の中で時代にあった新しい見守りの方法を住民さんと考えていくことが大切だと感じました。今後も見守りについて“語らん場”を通して皆さんと一緒に考えていきたいと思います。